

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

上士幌町観光DMOによる観光振興事業計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道河東郡上士幌町

3 地域再生計画の区域

北海道河東郡上士幌町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本町は大雪山国立公園の麓に位置し、雄大な自然に囲まれた地域である。日本一広大な公共牧場「ナイタイ高原牧場」、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群、国内で最も歴史のある熱気球など豊富な観光資源を有する。しかし、それらを活用した有料での体験型観光、観光ビジネスが現在乏しい状況にある。また、観光入込客数も横ばいの状況で新たな観光戦略が求められている。十勝の北部に位置する上士幌町は農業を主産業とし、「十勝ナイタイ和牛」、「十勝ハーブ牛」や乳製品、豆製品などの特産品があるが、十勝の食については、国内外をはじめ、ふるさと納税などからも今後もニーズがあると期待できるが新商品開発、連携した商品づくりに課題がある。

本町の人口ビジョンは、2010年の5,078人から2040年には3,222人と1,856人の減少となり就業者数も2,596人から1,400人と1,196人の減少が予測されており、本町としても移住定住、子育て支援施策を積極的に進めているが、生産年齢人口を維持するためには雇用の場を確保することが求められている。

4-2 地方創生として目指す将来像

本町は、平成30年度にDMO登録、地域の稼ぐ力を引き出すための新たなまちづくり会社の設立「上士幌町観光地域商社」を目指し、観光客、住民が満足できるサービスを提供する。また、新会社「上士幌町観光地域商社」では、本町の観光資源、地域を活用した新たなビジネスの発掘、移住定住、雇用相談のワンストップ窓口などの住民サービス提供を行うため、それらを担う人材育成を行うことにより雇用、人口増を目指す。

今後、平成31年度にナイタイ高原牧場レストハウス、平成32年度に新道の駅が供用を予定しており、これらに向けて、地場産品の発掘、事業者のマッチングにより新たな特産品、売れる商品づくりを研究し、観光振興

の発展を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年 度増加分 (1 年目)	平成 30 年 度増加分 (2 年目)	平成 31 年 度増加分 (3 年目)	K P I 増加 分の累計
新会社、新交流拠点施設 「ナイタイ高原牧場レストハウス」、「道の駅」 に関わる雇用者数 (人)	0	2	3	5	10
転入・転出による 流入人口 (人)	0	20	25	30	75
上士幌町観光入込 客数 (万人)	35.91	2	2	3	7

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本事業は、観光DMO登録、新たなまちづくり会社設立に向けて町民全体、各団体に対し、セミナー、検討会を実施し将来的な本町の観光ビジョンを町全体で共有を図る。合わせて人材の確保、育成に努めるとともに体験型観光コンテンツづくり、着地型旅行業の検討、インバウンド受入体制の強化等を検討し、稼ぐ力を見出していくものであり、商品開発、販路拡大等のマーケティングについても検討していく。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金【A3007】

①事業主体

北海道河東郡上士幌町

②事業の名称

上士幌町観光ビジネス創出事業

③事業の内容

本事業は、観光DMO登録、新たなまちづくり会社設立に向けて本年は町民全体、各団体に対し、気運を盛り上げるためのセミナー、検討会を実施し将来的な本町の観光ビジョンを町全体で共有を図る。

また、新会社設立を目指すため観光戦略推進員、戦略マネージャーの配置を検討し人材の確保、育成に努める。合わせて体験型観光コンテンツづくり、着地型旅行業の検討、インバウンド受入体制の強化等を検討

し、稼ぐ力を見出していく。

町特産品や観光資源についても、素材を有効に活用し商品開発、販路拡大等のマーケティングチームを設立し、売れる商品づくりを検討する。

④事業が先駆的であると認められる理由

【自立性】

新会社設立までの検討会、プロジェクトチーム活動での事業実施には交付金等の支援を要するが、新会社観光地域商社設立により体験型観光等のソフト事業での収益、ナイタイ高原牧場レストハウス、新道の駅供用後の直営サービスの提供、施設管理、業務受託により自立が可能となる。

【官民協働】

観光地域商社設立に向けて官民協働で事業内容の検討、出資協力等行い事業を実施する。

【政策間連携】

上士幌町では平成31年にナイタイ高原牧場レストハウスのリニューアルオープンを予定し、平成32年に新道の駅オープンを予定している。その場所での住民サービスの提供や移住・定住・雇用相談等のワンストップ窓口化を目指し、住民へのサービス向上を行う。

【地域間連携】

特になし

【その他の先導性】

特になし

⑤重要業績評価指標（K P I）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成29年 度増加分 (1年目)	平成30年 度増加分 (2年目)	平成31年 度増加分 (3年目)	K P I 増加分の累計
新会社、新交流拠点施設 「ナイタイ高原牧場レストハウス」、 「道の駅」 に関わる雇用者数(人)	0	2	3	5	10
転入・転出による 流入人口(人)	0	20	25	30	75
上士幌町観光入込 客数(万人)	35.91	2	2	3	7

⑥評価の方法、時期及び体制

毎年6月に総合戦略の効果検証機関である「総合戦略検証会議（外部有識者等）において指標に対する達成状況などの評価検証を行うとともに、議会総務文教厚生常任委員会、産業経済建設常任委員会において効果検証内容の協議を行い、町ホームページ、広報誌を通じ公表する。

<検証会議>

町内～商工会、JA、林対協、観光協会、金融機関、労働団体、社会福祉協議会、社会福祉法人、医療機関、校長会、連合PTA、子育てサークル、行政区長

町外～大学（大学院）、新聞社、北海道（十勝総合振興局）

⑦交付事業に要する経費

法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 86,728 千円

⑧事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

⑨その他必要な事項

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確保するために、毎年度各指標の集計を行い、検証会議において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要計画の見直しを行う。

目標1

新会社、新交流拠点施設「ナイタイ高原牧場レストハウス」、「道の駅」に関わる雇用者数については3月末日時点で関係施設担当者より実績の提供を受け把握する。

目標2

転入・転出による流入人口については、担当課職員が3月末日時点で住民票異動状況により把握する。

目標3

上士幌町観光入込客数については、担当課職員が3月末日時点で各施設での入込客数を集計し把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成29年 度増加分 (1年目)	平成30年 度増加分 (2年目)	平成31年 度増加分 (3年目)	KPI増加分の累計
新会社、新交流拠点施設 「ナイトハイ高原牧場レストハウス」、「道の駅」 に関わる雇用者数(人)	0	2	3	5	10
転入・転出による 流入人口(人)	0	20	25	30	75
上士幌町観光入込 客数(万人)	35.91	2	2	3	7

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年6月に総合戦略の効果検証機関である「総合戦略検証会議(外部有識者等)において指標に対する達成状況などの評価検証を行うとともに、議会総務文教厚生常任委員会、産業経済建設常任委員会において効果検証内容の協議を行い、町ホームページ、広報誌を通じ公表する。